

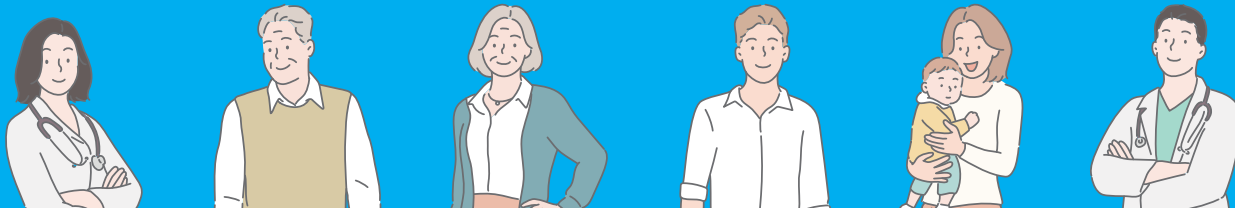
未来の 医療の ために

参加費—無料

申込—不要

—臨床研究・治験を知る—

「臨床研究」「治験」と聞いて、皆さんはどんなイメージを抱かれますか？怖さや不安、抵抗を感じる方も多かもしれません。しかしながら、臨床研究や治験に協力してくれる患者さんがいるからこそ、医療はここまで発展することができました。まずは、臨床研究を通してどのように新しい医療が生まれていくのか、また生まれたものが実際に医療現場でどのように活用されているのかに触れてみませんか？研究者、患者さん双方の立場の方からお話を聞くことで、臨床研究・治験への考え方が変わるかもしれません。



2.5 2023
[日]

14:00~15:40

YouTubeライブ配信

YouTubeで視聴する

<https://youtu.be/bSf2z8eBSxU>



プログラム

総合司会 iACT 臨床研究支援部 特定助教 池田靖子

開会の挨拶 京都大学医学部附属病院 病院長、iACT 機構長 宮本享

第1部

臨床研究・治験を通じて 新たな治療が生まれるまで

iACT 臨床研究支援部 臨床研究コーディネーターユニット ユニット長

老本名津子

第2部

臨床研究・治験を通じて 新しく生まれた治療の実例

角膜難病に対する治療法の開発について
—口腔粘膜細胞を利用した視力の回復—

京都府立医科大学 眼科学教室 教授

外園千恵

乳がんの再発を抑える術後の治療法について
—ホルモン剤と抗がん剤の併用により再発リスクを減らすには—

京都大学大学院医学研究科 外科学講座 乳腺外科 教授

戸井雅和

未来の医療のために私たちができること

第3部

パネルディスカッション

パネリスト

iACT 臨床研究支援部
臨床研究コーディネーターユニット ユニット長

老本名津子

京都府立医科大学 眼科学教室 教授

外園千恵

iACT 臨床研究支援部 部長

永井洋士

認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長

山口育子

ファシリテーター

iACT 戦略・広報室 室長

堀松高博

閉会の挨拶 iACT 臨床研究支援部 部長 永井洋士

後援：厚生労働省、京都府、京都市、公益社団法人 日本医師会、京都新聞、
がん情報サイト「オンコロ」、京都大学IPS細胞研究所(CiRA)



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

KU:PH
京都大学医学部附属病院
KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL